

# 病害虫防除技術情報第 2 号

令和 6 年 4 月 23 日

三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の越冬世代が多い状況です。  
飛来を確認したら防除を実施してください。**

1 対象作物：ウメ、ナシ、カンキツ、ビワ等果樹類

2 対象病害虫名：果樹カメムシ類

(ツヤアオカメムシ・チャバネアオカメムシ)

3 発生状況

(1) 予察灯（南牟婁郡御浜町）における誘殺数（4月18日現在）は、ツヤアオカメムシで 7,775 頭（4月中旬平年 169.0 頭）と非常に多い状況です（図 1）。

(2) 令和 5 年度調査におけるチャバネアオカメムシの越冬量は、12.2 頭/地点（平年 3.7 頭）と多い状況です。

(3) 昨年度の予察灯（御浜町、令和 5 年 8 月 1 日～11 月 30 日）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 4,334 頭（平年 8,501 頭）と平年並の傾向、ツヤアオカメムシ 12,977 頭（平年 8,238 頭）とやや多くなっています。

(4) 昨年度の予察灯（畑・松阪市、令和 5 年 8 月 1 日～11 月 30 日）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 6,428 頭（平年 2,840.4 頭）、ツヤアオカメムシ 1,330 頭（平年 888.9 頭）と多くなっています。

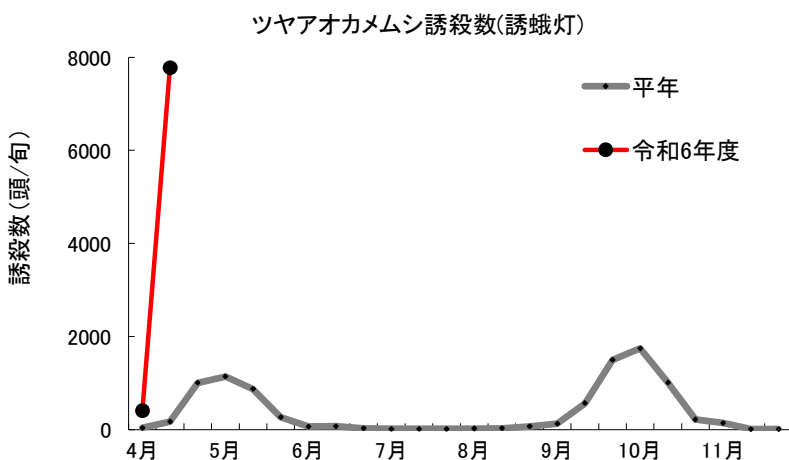


図 1 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数  
(南牟婁郡御浜町)



図 2 カンキツの花蕾への加害



図3 カンキツの新梢への加害



図4 加害を受けてしおれた新梢

#### 4 防除の注意事項

- (1) 飛来数は、圃場による差が大きい傾向があります。気温の上昇など気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
- (2) 過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
- (3) 夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場で飛来を確認したら防除を実施してください。近隣圃場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は農薬情報検索システムで最新情報を調べることができます。

農薬情報検索システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

- (5) 幼果だけではなく、新梢や花蕾を吸汁することもあります（図2、3、4）。被害が大きい場合は、加害を受けた新梢が褐変することがあります。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。